



会学、情報処理学を専門とする多くの教官が、当時人々はどのように歩いたか、商品がどのように並べられていたか、街中ではどんな音が聞かれたのか、などを共同で研究することで17世紀の古都の追体験を可能にしようとしています。このプロジェクトはまだ計画段階ですが、すでに北米の大学から日本概論や、美術のコースの教材として使いたいという問い合わせが寄せられており、本格的なプロジェクトの開始が待たれます。

今回ご紹介した取り組みは日文研の研究活動のごく一部ですが、日本における文化研究の動向の一端がお知らせできればと思います。

ビジュアルイメージを主題にしたいくつかのデータベースは日文研のホームページを通して登録後に閲覧していただけます。
(<http://www.nichibun.ac.jp/>)

現代日本資料センター 日本に関するニュース の情報源—印刷物とオンライン

ランドール・ショート
スタッフ・アシスタント

DCJでは1988年の開設時より数々の事業、活動と共に日本のメディアに注目してまいりました。現在まで130以上のカテゴリーに及ぶ数千もの記事をクリップ、ファイルしてまいりました。これからもインターネットでは得がたい、数多くの日本に関する情報をクリッピングし、皆さまのお役に立っていきたく願っています。ここではDCJ又インターネットを通してご利用になれる特定の印刷物、そしてデジタルサービスについてもご説明させていただきます。

E&Pメディア 「沖縄タイムズ」のローカルなニュースや「読売新聞」を通して日本国内のタイムリーなニュースを入手したいと思ったことはありませんか。Editor & Publisher's Interactive MediaInfo

Links データベースはウェブサイトを持っている日本やその他の国々のメディアへのリンクで、最もベーシックな情報を載せています。1月1日現在、E&Pメディアにリストされているものは、日本に関するものだけでも、新聞54紙、雑誌23紙、ラジオ10局、テレビ局は12局に及びます。E&Pメディアはオンライン (<http://emedial.mediainfo.com/emedial>) にて無料でご利用いただけます。

『ジャパン・ダイジェスト』 遅れをとらずに、日本の政治経済、ビジネス、貿易、テクノロジー、社会問題に関する日刊、週刊、そして月刊のヘッドライン・ニュースを希望する皆さまには『ジャパン・ダイジェスト』がお役に立つと思います。祝日を除く月曜から金曜の毎朝、5ページに及ぶニュースサマリーがDCJとその他の購読者に直接ファックスされています。(日刊『ジャパン・ダイジェスト』はEメール及びウェブサイトより入手できます。週刊『ジャパン・ダイジェスト』は郵送されています。) DCJは1995年10月より今日までの『ジャパン・ダイジェスト』を所蔵しています。個人や小規模な機関にとって日刊『ジャパン・ダイジェスト』年間購読料1295ドルという金額は決して安いものではありません。ただし情報源の記述がないので、特定の記事を確認したい方には不向きかもしれません。日本に注目して、これから情報を集めたいと希望されている方々には『ジャパン・ダイジェスト』のウェブサイト (<http://www.japandigest.com>) をご覧になることをお勧めします。手数料なしでEメールを通して送られてくる『デイリー・ヘッドライン』の申し込みもお忘れなく。少なくとも日々の一面記事などの情報を鋭く素早く簡単に入手したい皆さまにとって、『デイリー・ヘッドライン』は大変便利です。また、ある特定の記事をさかのぼってお探しの際は、直接DCJにおこしになるか、日本メディアのウェブサイトを検索されるか、あるいは『ジャパン・ダイジェスト』より個々のサマリーを直接ダウンロードされることが可能です(利用料は1サマリーにつき1ドル、1部に

つき7ドル50セントです)。

『JEI レポート』 日本外務省の支援を受け、The Japan Economic Institute of America が週刊『JEIレポート』として日本の政治、経済、外交政策、日米関係に関する記事を発行しています。DCJにお越しになる際には私どものコンピューターで直接JEIレポートをオンラインでご利用になれます。また印刷されたJEIレポートは1979年にさかのぼるものまでDCJに保管されており、ご利用いただけます。ウェブサイト (<http://www.jei.org>) にはレポートに関する年代順の目次と各レポートの要約が含まれています。ウェブサイトには購読に関する情報(例えば50%の学生割引や教師向けの団体割引の特典)なども載せられています。JEI日米ビジネスレポートも月刊紙として発行されています。

『プレスガイド』 これから起きる日本のニュースを先取りしたい皆さまには『プレスガイド』をお勧めします。日本のForeign Press Center (FPC) が発行するプレスガイドは日本の政治、経済のみならず社会や文化面も幅広くカバーする月刊『ニュースレター』です(英語と日本語)。このニュースレターは、これから開催されるイベントや数々の行事計画、特定の時事に関する説明やそのデータ、最新日本語キーワード、そしてFPC発行のニュースを掲載しています。1990年からの『プレスガイド』はDCJにて入手可能です。プレスガイドはオンライン (<http://www.nttl.co.jp/fpc>) にて無料でご利用いただけます。

日経テレコムニュース&検索 DCJをご利用になる皆さまには日経テレコムニュース&検索サービスへのアクセスが可能です。日経テレコムニュース&検索は日本の最も古く広範囲にわたる有料データベースサービスです。日経テレコムを通して、日本とその他のアジア諸国で発行される特定の英字新聞をフルテキストでサーチすることが可能です。又数多くのビジネス、経済に関するデータベースへのアクセスも可能です。